

2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月6日  
東

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所  
 コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6262-5160  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	2,383	6.0	466	8.8	484	15.7	316	10.2
2022年12月期第3四半期	2,247	13.8	428	33.0	418	30.8	287	36.0

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 365百万円( 0.4%) 2022年12月期第3四半期 363百万円( 55.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	47.79	47.36
2022年12月期第3四半期	43.37	42.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	3,539	2,661	73.2
2022年12月期	3,118	2,269	71.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 2,591百万円 2022年12月期 2,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないデータコントロール事業の業容拡大やグローバルIoTビジネスの大きな成長及び自動運転ソフトウェアの商用化等への事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	6,751,000株	2022年12月期	6,751,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	116,736株	2022年12月期	124,696株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	6,629,824株	2022年12月期3Q	6,629,637株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、サイバー空間とフィジカル空間の一体化(CPS: Cyber Physical Systems)が進展し、フィジカル空間における物理的なやり取りがサイバー空間においてデジタルデータの形で再現され、AI等の活用により、フィジカル空間における随時の状況把握及びその情報を基に次の行動判断を行うことが可能になると見込まれており、CPSを社会経済活動に最大限活用する、データ主導型のSociety5.0の実現へと向かっております(出典:総務省「令和5年版 情報通信白書」)。

このような環境の下、当社グループは、独自に保有する基盤コア技術をベースに、システムマネージ、クラウドマネージ、IoT、IIoTの各分野に加え、あらゆる物質や細胞までにリーチするIoE(Everything)、そして人間の能力を拡張させるIoA(Abilities)分野における研究開発・ビジネスデザイン及びプロジェクトを、国内だけではなくグローバルにおいても着実に進めております。

当社のクラウド・IoT分野全体を包括するデータコントロール事業の売上は、安定した完全ストック型ビジネス(サブスクリプションモデル及びリカーリングモデル)の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されております。当第3四半期連結累計期間においても、引き続き月額課金案件の受注獲得を推し進め、前年同期と比較して月額課金売上は156,921千円純増しました。これにより、上場以来35四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長となり、ウクライナをめぐる国際紛争の長期化や米中対立等の地政学リスクに加え、国内外におけるインフレや各国の政策金利上げ及び大幅な為替変動などの影響を受けることなく極めて堅調に推移しております。なお、先行投資は過去最高を更新する金額を継続して実施しており、政府観光支援関係の大型案件が終了したものの、当第3四半期連結累計期間における営業利益の前年同期増減率は+8.8%、経常利益の前年同期増減率は+15.7%と堅調な増加となりました。

昨今、IoT市場では、製造機器のサブスクリプションといえるEaaS(Equipment as a service)が注目を集めており、大量生産・大量出荷型モデルからの転換が起り始めています。このEaaSは、当社がかねてより予測し、志向し続けたIoTビジネスのあり方そのものであり、IoTエンジン「NEQT0」をベースにEaaSを支えるNo.1コアエンジン(IoTソフトウェア)のライセンス及びOEM提供を目指しております。また、金融業界における需要の高まりを背景に、データコントロール(監視・運用・制御)サービス並びに中長期的には金融業界を中心として多種多業種向けにAI、IoTサービスをグローバルに展開すべく、SBIセキュリティ・ソリューションズ株式会社と合弁会社の設立について基本合意に至りました。さらに、各種クラウドを包括管理する「JIG-SAW PRIME」は、データコントロール事業に密接に関連し、重要な社会インフラとなっているクラウド環境における企業ニーズを背景に、前年同期と比較して取引総額が825,252千円(前年同期比68.5%増)拡大しました。加えて、引き続き高い事業成長を実現すべく実施している将来に向けた先行投資も金額ベースで過去最高を更新し、前年同期と比較し約113,000千円増加となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,383,135千円(前年同期比6.0%増)、営業利益466,009千円(前年同期比8.8%増)、経常利益484,359千円(前年同期比15.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益316,848千円(前年同期比10.2%増)となりました。

なお、当社グループはデータコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,648,267千円(前連結会計年度末比335,606千円増)となりました。これは主に、売掛金が増加(前連結会計年度末比116,870千円増)、現金及び預金が増加(前連結会計年度末比104,290千円増)、その他に含まれる前払費用が増加(前連結会計年度末比103,204千円増)したことによるものであります。

また、固定資産は、891,575千円(前連結会計年度末比85,475千円増)となりました。これは主に、敷金及び保証金が増加(前連結会計年度末比100,855千円増)したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、3,539,842千円となり、前連結会計年度末に比べ421,081千円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、872,860千円(前連結会計年度末比72,618千円増)となりまし

た。これは主に、買掛金が増加（前連結会計年度末比95,582千円増）したことによるものであります。

また、固定負債は、5,647千円（前連結会計年度末比43,725千円減）となりました。これは主に、長期借入金が減少（前連結会計年度末比45,000千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は、878,508千円となり、前連結会計年度末に比べ28,892千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,661,334千円（前連結会計年度末比392,189千円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等に伴い利益剰余金が増加（前連結会計年度末比282,523千円増）したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないデータコントロール事業の業容拡大やグローバルIoTビジネスの大きな成長及び自動運転ソフトウェアの商用化等への事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,363,407	1,467,698
売掛金	834,503	951,374
その他	115,165	229,783
貸倒引当金	△415	△589
流動資産合計	2,312,661	2,648,267
固定資産		
有形固定資産	254,909	225,640
無形固定資産	38,699	35,293
投資その他の資産		
投資有価証券	125,435	145,320
敷金及び保証金	234,388	335,243
繰延税金資産	114,238	110,792
その他	38,968	55,878
貸倒引当金	△540	△16,592
投資その他の資産合計	512,490	630,642
固定資産合計	806,099	891,575
資産合計	3,118,760	3,539,842
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	414,974	510,557
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払法人税等	120,337	79,760
その他	204,930	222,542
流動負債合計	800,242	872,860
固定負債		
長期借入金	45,000	—
その他	4,373	5,647
固定負債合計	49,373	5,647
負債合計	849,615	878,508
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	351,107	351,107
資本剰余金	310,580	310,580
利益剰余金	2,070,343	2,352,867
自己株式	△566,158	△530,047
株主資本合計	2,165,873	2,484,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,647	26,943
為替換算調整勘定	43,012	80,180
その他の包括利益累計額合計	58,659	107,123
新株予約権	44,611	69,702
純資産合計	2,269,145	2,661,334
負債純資産合計	3,118,760	3,539,842

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	2,247,713	2,383,135
売上原価	708,457	726,270
売上総利益	1,539,255	1,656,865
販売費及び一般管理費	1,110,823	1,190,855
営業利益	428,431	466,009
営業外収益		
受取利息	28	73
受取配当金	689	4,313
受取手数料	4,110	19,692
その他	582	308
営業外収益合計	5,411	24,387
営業外費用		
支払利息	185	109
為替差損	14,766	5,885
その他	99	42
営業外費用合計	15,051	6,037
経常利益	418,791	484,359
税金等調整前四半期純利益	418,791	484,359
法人税、住民税及び事業税	124,843	165,584
法人税等調整額	6,446	1,927
法人税等合計	131,289	167,511
四半期純利益	287,501	316,848
親会社株主に帰属する四半期純利益	287,501	316,848

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	287,501	316,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,108	11,295
為替換算調整勘定	57,158	37,168
その他の包括利益合計	76,267	48,463
四半期包括利益	363,768	365,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	363,768	365,312
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。